

三友精機(株)

中津川市・ダイカスト・プラスチック金型製造、修理
従業員数 / 男性10名 女性5名 計15名 ※令和6年11月現在

エクセレント
POINT

- ①子育て世代も働きやすい環境を整備
- ②有給扱いの年5日間の子の看護休暇・介護休暇制度を導入
- ③面談・習熟度に合わせたOJTなど充実した教育体制



非接触式三次元測定機は、男女問わず未経験の方でも高精度な測定が可能。一人でできるようになるまで上長が付き添い研修を行う。

職場のルール明確化で効率アップ。

三友精機では、職場内のルールを明確にすることで業務効率化につながようと、それぞれの部署が意見を出し合っており、受注から生産、納品までの流れをまとめたフローチャート・20種類を作成。各職場に張り出し、いつでも確認できるようにしている。特に、個人により差があった問題発生時の対応は、内容ごとにパターン化することで迅速に解決で

きるようになった。

また、終礼時に、翌日に行う仕事と所要時間をホワイトボードに書くことを習慣化したほか、廃材を利用した工具の整理棚を作成するなど、日頃から職場環境整備に積極的に取り組んでいる。

業務効率化を中心となつて進めた青山信子総務部長は「新入社員に対し、ルールも何もない状態で『自分で考えて』と言うのは酷。ルールづくりが進み、指導しやすくなった」と、人材育成の面での成果も実感している。

様々な人材が活躍できる環境づくりには以前から注力。総務部は以前、女性従業員2人のみだったが、1人が産休に入るのに合わせて新たに1人を採用。現在は3人体制となり、フォローがしやすい環境が整った。

会社創立時から働く製造課の糸魚川証作さんは、74歳となった今も



会社創立時から働いている糸魚川証作さん(右)は、負担の少ない勤務体系にすることで、74歳となった今も技術顧問として活躍している。

技術顧問としてダイカスト部品の仕上げや従業員の指導などを担う。始業時間を他の従業員より45分遅くするなど配慮があることで安心して力を発揮できている。

篠原悟司社長は「会社で目標を達成する喜びを得ることにより、家の生活も充実化させるといいというサイクルを確立してほしいという思いで、今後も働きやすい環境づくりを進めていきたい」としている。